

平成 31年

2月号

No.592

法音

今月の
ご法話

運命は自分から作り、
幸福は自分から求めるもの
⑤

日蓮宗
法音寺

111th

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音

平成三十一年二月号「592」

■目次■

【信仰の指針】改^{かい}過^か 素直に改めることが肝心です

【朝のこない夜はない】

運命は自分から作り、幸福は自分から求めるもの⑤

山首 鈴木正修

2

■ 講日のご案内

17

■ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

18

■ 御守・御札のご案内

20

■ まんが・節分のお話

21

■ とこのはの記 毎自の悲願

30

■ 支院だより

34

■ 福祉に生きる 特別養護老人ホーム・安立荘の実践

86

■ 日本福祉大学・スポーツの世界で活躍する卒業生

96

■ 賛助員ご芳名

98

■ 幸せの種まき／編集後記

100

■ 連載まんが・ひまわり・73 あたりまえに感謝

101

■ 書籍のご紹介

■ 法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・サンシユ

掲載写真

表紙・信仰の指針・3

17頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

改過かい
か

素直に改めることが

肝心です

日教五



寒ザクラ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

運命は自分から作り、

幸福は自分から求めるもの ⑤

今回は『陰鶯録』の最終章「改過」についてお話をします。

「改過」とは、過ちを改めるということなのです。

人は誰でも過ちを犯すことがあります。孔子は「過ちて改むるに憚ること勿かれ」（過ちを犯したら、ためらわずに直ぐに改めるように）と言いました。勇気をもって、根気良く改めることが肝要です。

私達は小さい過ちを見過ごしがちです。しかし、小さな過ちでもそれを重ねていくと何時か大きな悪となり、禍として身に降りかかってきます。



誰しも禍を避け、福を願うものですが、袁了凡は「吉凶禍福には前兆がある」と言っています。

本文には「中国の春秋時代の大夫達が、人の言動を観察し、予測してその過失や災禍を説くのに、一つとして当らないものはない。そのことは『春秋左氏伝』や『国語』に書かれているものを観るとよくわかる。およそ吉凶の兆は、はじめ心の中に萌して、それから身体に現れてくるものである。それ故、福がまさに来ようとするときは、その善なる相を觀て、あらかじめこれを知ることが出来る。禍の来ようとするときもその不善なる相を觀て、必ず前もってこれを知ることが出来る」とあります。

袁了凡の前半生をことごとく言い当てた孔老人は「易学の秘伝を得ている」と言いました。「人間の運命を知るのに易学程秀れたものはない」と易学の大家・安岡正篤氏は言っておられます。



日本で一番有名な易学者は、幕末から明治を生き、横浜の地に名を残し、「易聖」と呼ばれた高島嘉右衛門であると思います。高島嘉右衛門は易学の奥義を極め、政府高官の依頼によって征韓論や日清戦争、日露戦争のことを占い、その占いが当時の新聞に掲載された程です。殊に伊藤博文との親交は有名です。

伊藤博文と高島嘉右衛門は四十年の付き合いがあり、子ども同士が夫婦で姻戚関係でした。伊藤博文が六十八歳の時、日露戦争後の満州問題を解決するために満州のハルビンにロシアの蔵相と交渉に行くことになりました。高島嘉右衛門は病気で寝ていましたが、伊藤博文が挨拶に訪れると、いきなり「閣下、急病になってはいただけませんか」と言いました。伊藤博文が「私は元気だし、そんなことはできるわけがない」と笑いながら言うのと、「閣下ももうお年ですから、急に病気になることも



あります」と真剣に言いました。そこで「私の旅の前途を占ってくれたのか」と伊藤博文は聞きました。すると高島嘉右衛門は「大変な凶兆でございます。おそらく閣下はこの旅から無事にお帰りにはなれませんまい」と言つて、寢床から起き上がり、正座をして畳に頭をすりつけながら「高島嘉右衛門、一生に一度の最後のお願いとお考えください。満州に行つてはなりません」と懇願しました。それに対して、伊藤博文は「そうか、行つたらもう帰つて来ることができないか。あなたが言うのだから間違いないだろう。しかし、この度の満州旅行だけはと云われても止められないのだ。私のこの命は、お国のため、陛下のために捧げたものだ。御維新の戦乱の中で大勢の仲間が死んだ。中には私よりも優れた者も少なくなかった。今これだけ生かされていることは、もうそれだけでありがたい。これ以上、長生きをしようとは思つ



ていない。吉田松陰先生が刃の露と消えられても、門下生達はその志を継いだように、かりに私が満州で殺されても、その死は決して無駄にはなりません」と答えました。高島嘉右衛門は「閣下、もうおひきとめはいたしません。ただ最後に一つだけお願いがございます。『良』州ハルビン駅のプラットホームに降り立った時、六発の銃声が鳴り響き、伊藤博文は暗殺されたのです。撃ったのは、韓国人の排日家・安重根でした。

高島嘉右衛門は、自分の死も予言しています。

高島嘉右衛門は「易聖」と呼ばれましたが、その当時、人相見として水野南北以来の大名人と言われた桜井大路という人がいました。高島嘉右衛門は大正三年の十月十



七日、八十三歳で亡くなりましたが、その死の三カ月前に桜井大路が病床を訪ねました。そこで高島嘉右衛門が「東京停車場の落成記念に私は呼ばれるでしょうが、とうてい出席はできませんまい。あの世から見物しますかな」と言うので桜井大路が「何を仰います先生、先生は少なくとも米寿までは長生きなさいます。…と私は鑑定いたしません」と励ましました。しかし、それに対して高島嘉右衛門は微笑しながら言いました。

「あなた程の人相骨相の達人が、心にもないことを言われますな。私自身の余命についてはもう悟り切っておりません。余計な気遣いはいりません。正直なことを言ってください」

「直接相手に向かってその死期を告げるな」というのは占いの師の掟でございます。しかし先生はそのようなことは百も御承知のはず。それを押し切ってお尋ねとあ



らば、私もはつきりと申し上げましょう。あと三カ月、
十月の半ばまでのご寿命と鑑定いたします」

「さすが桜井大路。あなたは大名人だ。その棚に手文
庫がある。それをとってくれませんか」

その手文庫には位牌が一つ入っていました。位牌には
高島嘉右衛門自身の筆で「大正三年十月十七日没 享年
八十三歳」と書きしるしてありました。それを見て桜井
大路は、高島嘉右衛門の枕頭で泣き伏したと言います。
これは当時の中央新聞に記事が掲載され、有名になった
お話です。

心中の善悪・想念が、人間の面相・言語・動作に現れ
てきます。ひいては、それがその人の運命につながって
いくのです。

かのマザー・テレサがおっしゃっています。



力りよくしなければいけないのです。

孟子もうしは言いっています。「恥はずる心程こころほど人間にんげんにとつて大事だいじなものはない」

恥はずる心こころを持もっていると自らみづかを省かへりみて精進しょうじんするようになり、やがては聖賢せいけんの域いきにも達たつすることができるようのです。逆さかに恥はずる心こころを失うしなうと、自らみづか省かへりみることなく、精進しょうじんもせず、そのために禽獸きんじゆうと同等どうとうとなつてしまふのです。

山岡鉄舟やまおかてつしゆうという、西郷隆盛さいこうりゅうせいのたつての依頼いらいにより明治めいじ天皇てんのうの侍従じじゆうになつた人ひとがいます。この人ひとは道場どうじやうを開ひらく程ほどの剣けんの達人たつしんで、神仏しんぶつを大變敬たいへんやまう人ひとでした。ある時とき、門弟もんていが「先生せんせいは『神仏しんぶつを敬うやまえ』とよく言いわれますが、神仏しんぶつを信仰しんこうしたところところで大たいした利益りえきもないし、罰ばちも当あたりませんよ。その証拠しょうこに私わたくしは道場どうじやうに来くる途とちゆう中ちゆうにときどき神社じんじやの鳥居とりいに立ち小便しょうべんをしますが、罰ばちが当あたつたことはありま



せんよ」と言いました。それに対し、山岡鉄舟は「馬鹿者。恥を知れ。お前にはすでに罰が当たっておるわ。立派な武士のお前が犬や猫の真似をして得意になっている。それがつまり神罰じゃ」と言ったそうです。

二つ目は、畏れる心です。

以前にもお話しした「慎独」（独りを慎む）というところが大事です。自分一人で誰も見ていない、聞いていないところでも、諸天が見ておられる、聞いておられるという気持ちで行動しなければいけないということです。有名な『四知』（天知る、地知る、我知る、子知る）。

何をか知る無しと謂わんや」という言葉があります。

中国の後漢の時代、楊震という人が、王密という若者を取り立てました。楊震がある町に行った時、王密がそこにいました。夜遅く王密がやってきて「先生、ありが



とうございました。先生のお陰で、この地位につくことができました」と言っ大金を差し出しました。その時、楊震は「私は君という人間を認めて推挙しただけのことだ。君は私がどういう人間なのかわかっていないのか。こんなものが欲しくて君を推挙したわけではない。君の能力を見込んだのだ」と言いましたが、「夜も遅いですし、誰も見ていません。誰も聞いていません。どうぞお納めください」と引き下がりません。そこで楊震は「そんなことはない。天が知っている。地が知っている。私

が知っている。君が知っているではないか。どうして誰も知らないと言えるんだ」と言っ断ったという話が元になった言葉です。こういう「畏れる心」を持ちたいものです。

三つ目は「勇心」です。



間違っているなぐと思ったらすぐに改めるということ
です。ぐずぐずしていると人生はあっという間に終わっ
てしまいます。ぐいつかやるぐは、ぐいつまでもやらな
いぐのと同じです。

ある時、道元禪師に弟子が「人生を成就する人と何も
せず終わってしまう人がいますが、その違いは何でしょ
うか？」と尋ねると「それは努力をするか、しないかだ
と道元禪師は答えました。続けて弟子が「では努力をす
る人としらない人の違いは何でしょうか？」と尋ねると
「努力をする人は、人間が死ぬぐ」ということを知ってい
る。人生に限りがあることを知っている。だから努力を
するのだ」と答えています。

勇気を持って素早く改過をすることが大事なのです。

すべての過ちというのは心から発します。心を清浄に



たもてれば、罪を作ることもありません。しかし心を清浄にたもつということはむずかしいことです。大事なことは、一心に徳を積みたいと思うことです。そう思っているれば、悪いことはできません。自然に良い方向に向かいます。

袁了凡は「心を改めて、徳を積もうということを常に心掛ければ、一週間、一カ月、二カ月、三カ月と経つうちに必ず次のような効験が現れる」と言っています。

○心が晴れやかでゆったりとしてくる。

○智慧がにわかにかけて頭の働きが機敏になり、人生の道理が一気にのみ込めるようになる。

○忙しい中でも自然に仕事がはかどる。

○意趣遺恨に思っていた人に会っても、まったく怒りや嫌う気持ちになくなり、喜びと変わる。



○夢の中で黒い物を吐いたり、先師先哲から教えを受けたり、虚空を飛び歩いたりする。また神仏を莊嚴する幢幡や天蓋を夢に見ることがある。

以上のような効験が現れたら、これは、改過が進んで徳が積めてきた証拠だ、と喜び、より一層精進しなければいけません。

お互いに頑張りましょう。

今回で『陰鷲録』のお話を終わらせていただきます。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では毎月の講日の中で
三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき、
教えを心にしみ込ませましょう。

法音寺本山は毎月7日、17日、27日が講日です。

◆今月の山首上人さまご親修日程

大阪支院	2月2日(土)	一宮支院	2月5日(火)
岡山支院	2月9日(土)	福山支院	2月10日(日)
東京支院	2月11日(月)	豊川支院	2月20日(水)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	2日・11日・23日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	17日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・10日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	2日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・23日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・10日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0568)72-7208
一宮支院	5日・15日・24日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	11日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	2日・10日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	5日・10日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・10日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(059)352-3633
四日市支院	2日・10日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・3日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	

☎連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・11日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	11日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	2日・10日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	10日・17日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)66-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)4210175
岡山支院	7日・9日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)26210818
高知布教所	11日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・10日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)6215087
安芸津支院	2日・17日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)4514012
坂支院	10日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)4415445
筑後布教所	10日・24日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)5317273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)5810742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)4211819
名古屋地区	3日・7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	10日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)8516860
亀岡布教所	10日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)2517807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

御守・御札のご案内

御札等の祀り方は、御札の種類により異なりますので、お尋ねください。

古い御札等は、本山、または支院・布教所にてお預かりし、お焚き上げ供養をいたします。



- | | | | | |
|----------|----------|------|--------|--------|
| ①道中安全守 | ②安産守 | ③合格守 | ④當病緩和守 | ⑤當病平癒守 |
| ⑥方除守 | ⑦病氣平癒しき守 | ⑧盗難除 | ⑨災難除守 | ⑩守護守 |
| ⑪鬼門除守 | ⑫門札 | ⑬棟札 | ⑭祈禱修法 | ⑮黒札 |
| ⑯所願圓滿大黒札 | ⑰海上守 | | | |

せつぶん はなし
節分のお話





えっ
意味がある
のですか？



きょう
今日（2月3日）は
せつぶん
節分だ
がどうして
まめ
豆まきをするのか
わかってやってる
のかい？



せつぶん
節分とは本来は
ほんらい
年4回の
ねん
季節の分かれ目
きせつ
の意味したものだが

立春
立夏
立秋
立冬

にほん
日本では立春が
りっしゅん
一年の始まりとして
いちねん
選ばれたため
えらばれたため
さいだいいち
次第に春の節分のみを
さだま
指すようになったんじや



へえ
昔は大晦日に
おひそ
豆まきしていたの
ですか？



はる
春!? 2月は
がつ
冬ではないの
ですか？

おひそ
昔の暦では立春が
おひそ
お正月 節分はその
おひそ
前日の大晦日という
ことなんじや



さいしゅ
最初から豆をまいて
いたわけじゃないぞ

もともとは
ちゆうごく
中国で
おひそ
大晦日に鬼払いの
おひそ
儀式をしていて
おひそ
それが奈良時代に
にほん
日本に伝わったのが
はじ
始まりなんだ





なるほど…
…あつ

わかりました！
悪い気が
おに
鬼ですな！

うむ！
そのとおり！
おに
鬼という語は
おん
陰に由来し
め
目に見えない邪気のことなんだよ



さいがい
災害、病、飢餓など
にんげん
人間の想像力を超えた
おそ
恐ろしい出来事は
おに
すべて鬼の仕業と
むむ
昔の人は考えたのじゃ

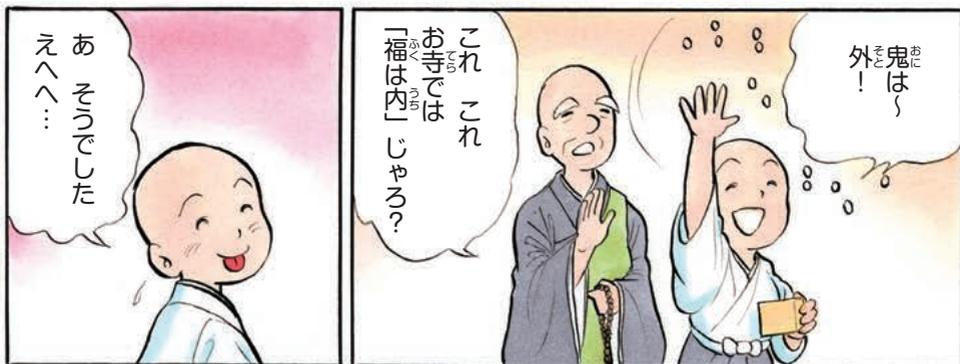




節分の豆まきは
どいう人が
まくのですか？

一般的にはその年の
男・女は縁起が良いし
厄年の人は厄払いになると
いわれて豆をまくが
実際は誰がまいても
構わないじゃよ

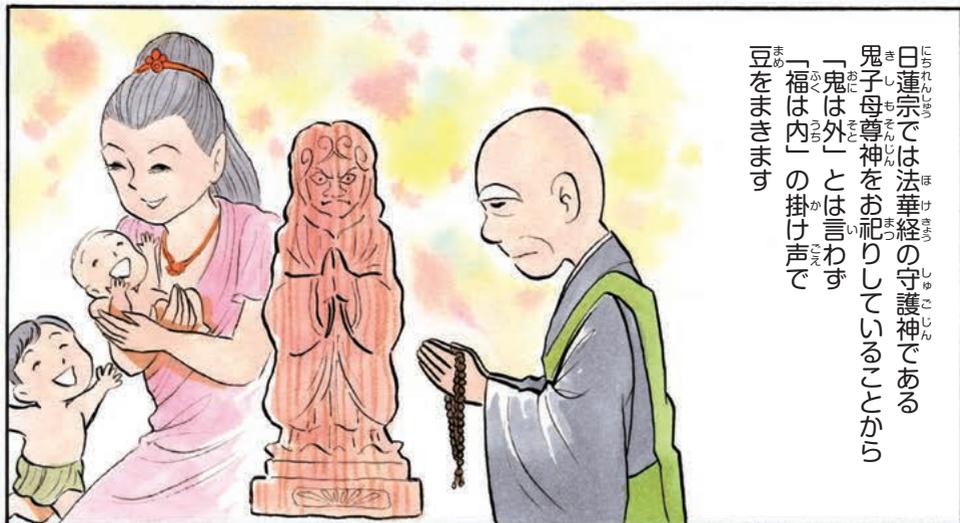
じゃ ポク
でもいいですね
よし



外！
鬼は
ほ

これ これ
お寺では
「福は内」じゃろ？

あ そうでした
えへへ…



日蓮宗では法華經の守護神である
鬼子母尊神をお祀りにしていることから
「鬼は外」と言われ
「福は内」の掛け声で
豆をまきます





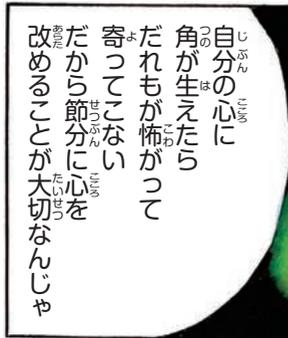
世の中の人から嫌われ
不幸になってしまふ



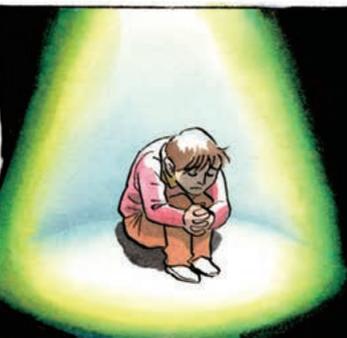
逆に慈悲の心から
離れる人は
自己中心的な考えで
行動し

交番に
いけば!

あ...
ここへは
どう行...



自分の心に
角が生えたら
だれもが怖がって
寄ってこない
だから節分に心を
改めることが大切なんじゃ



人に優しくできない
時は心のなかに鬼が
いるということ



よくし
心に鬼が住みつかない
ようにするゾ!

新しい年に福が
訪れるよう
豆をまくとともに
「感謝と親切」を
心掛けなきゃ
いけないよ

おわり



・平成31年・

節分会

(開運厄除け
祈願)



● 厄年に該当する年廻り (共に、数え年) ●

6歳(平成26年生) / 15歳(平成17年生) / 24歳(平成8年生)

33歳(昭和62年生) / 42歳(昭和53年生) / 51歳(昭和44年生)

60歳(昭和35年生) / 69歳(昭和26年生) / 78歳(昭和17年生)

87歳(昭和8年生) / 96歳(大正13年生) / 105歳(大正4年生)

※法音寺では、厄年に関係なく、どなたでもお申込みできます。

詳しくは、各支院・布教所までお問合せください

とくのはの記

毎自の悲願

毎日お唱えしている自我偈の最後に次のような偈文があります。

毎自作是念まいじさせねん 以何令衆生いかりようしゆじよう 得入無上道とくにゆむじようどう 速成就仏身そくじようじゆぶつしん

(つねに自らこの念をなす。何を以てか衆生をして、無上道に入り、速やかに仏身を成就することを得せしめんと)

「この偈文は一説に『破地獄の文』と呼ばれているんじゃないよ」

「どういう意味でしょうか？」



「〃地獄の道を破り、閉ざしてしまうような大慈悲心が顕されて
れている文〃ということじゃ」

「この文を唱えると、地獄への道が閉ざされるとい
うことで
すか…」

「仏さまは、私のために、〃どうしたら本当の幸
せを得られる
のか〃と日夜考えてくださっているのだよ」

「それだけ私達は仏さまを悩ませているとい
うことですね…」

「昔は天皇即位の時に天子にこの言葉が授け
られたのだとか
…。つまり天皇はこの心で何事にも対処しな
ければならない
ということなのだね」

「天皇も仏さまと同じ心が求められたわけ
ですね」

「実は、この『毎自作是念…』は二通りの解
釈があるのだよ」



「どういふことですか？」

「一つは仏さまが、皆を救い、正しい道に導こう」と日夜お考えくださっているという解釈。もう一つは主語を仏さまではなく自分にして、自分が皆を救い、正しい道に導いていこう」といふ解釈じゃ」

「皆を救うのは、仏さまのお仕事で自分には関係ないと思っ
ていましたが、それは間違いなのですね…」

「法華経を聞いた人は、それを、自分がすること」と思わなければならぬのだよ。つまり、こういうことじゃ」

自らは是の念を作す毎に

(仏さまのご守護を喜ぶたびに)

以何にしても衆生をして、無上道に入ることを得て



(私のできることで少しでも人を喜ばせ、正しい道に導き)
速かに仏身を成就せしめん

(本当の幸せ、成仏の道につながるようにしていきます)

「皆の幸せのために働く決意表明のようですね」

「その通り。法華経の教えを聞いて、自分一人が、ありがとうございます」と喜んでいるだけではだめなのだよ。頭では理解しても、それが実行されなければ、本当の信仰にはならないのじゃ」「実行が伴わないと仏さまの御心に適わないということなのです」

〴〵三徳の教えを行いに変え、少しでも実行しよう

という気持で自我偈を唱えましょう。





福祉に 生きる

社会福祉法人 昭徳会

特別養護
老人ホーム

安立荘の実践

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。

鈴木修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために…

自分なりの幸せの種を考えさせられました

安立荘 看護師 川上 邦江

『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで、「幸せ」とは笑顔でいられること。笑顔で接することだと気づきました。

修学先生は明るく積極的、かつ誠実で、行く先々で信用を得られ、さまざまな所で事業を上げられました。私はその時代に生まれていれば、ある程度の収入を得たら、装飾品などの贅沢を考えていたでしょう。くじけていたら、投げ出していたでしょう。

しかし、修学先生は派手な遊びもせず、勉強に励むすばらしい人でした。

「幸せになりたければ、幸せの種をまくことが必要です。米も野菜も種をまかなければ、収穫することはできません。幸せの種さえまけば、人は幸せになれるのです」という杉山先生の言葉に、私の心は動かされました。そして、自分なりの幸せの種を考えさせられました。

私は幼少の頃、九州に住んでいました。実家の祖母はいつも笑顔で、優しく声を掛けてくれました。祖父に叱られても、祖父の悪口を言うことはなく、祖母は私のために教えておくべきことをうまく伝えてくれました。その優しい言葉で笑顔になり、いつも笑いがありました。そんな祖母は老衰のため101歳で亡くなりました。祖母も、私のために幸せの

種をまいてくれていたと気づきました。

修学先生は、世のため、人のため、そしてハンセン病患者さんの救済をはじめ弱者のために支援し続けました。ハンセン病に対する差別や繰り返し裁判があったことは、私もテレビで報道されるのを見て覚えています。昭和の初期に、修学先生が先頭に立ち、奮闘しておられたことはすばらしく、誇りに思いました。

そして、私は昭徳会に出会いました。困っている人達の手助けをするために、福祉を学び、入居者さまの家族の一員として接していきます。そのためには、笑顔で、明るく声をかけ、思いやりの気持ちをもち続けます。みんなの幸せのために働かせていただけることに感謝します。修学先生の学びを忘れないように精進します。

三徳の教えに共感

安立荘 介護員 石川 淳子

この本を読んで、鈴木修学先生を立派な尊敬すべき人だと思った。しかし、自分に修学先生のような行いができるかといえ、そうではないし、そうしたいとも思わない。

修学先生は一定の成功をおさめ、裕福な暮らしをしていたにもかかわらず、真の満足感を得られず、やがて不安と空しさを感じ、「本当の幸せとは何か。永遠に崩れることのない幸せはないのか」と煩悶するに至り、杉山辰子先生との出会いで裕福な暮らしを捨て、不幸な人の手助けをする道を選んでいる。私は今が良ければ、楽しければそれで良いと思って、自分は自分本位でわがままな人間だと思っ

ている。人を助けたいという気持ちはあっても、私は決して修学先生のようににはできない。自分が幸せだからこそ、人を助けることができると思うし、助けたいと思うのだと感じる。人に優しくできるのも、自分のために行っている気がする。感謝されると気分が良いから。笑顔を見ると自分がうれしくなるから。自分を犠牲にしても人を助けることができる人になりたいという気持ちはあるが、いざという時はやはり自分のことを一番に考えてしまう。

ただ、そうはいつでも杉山先生の「幸せになりたければ、幸せの種をまくことが必要。幸せの種さえまけば、人は本当の幸せになれる」「自分のできることで、立場を通して、仕事を通して、人の喜ぶことをして導く」という教え。「人々の憂い、悲しみを自分のこととして受け止め、自らの喜びを他人に分

け与える優しさの心、慈悲」「間違った行いや悪い心を退け、世のため人のために自らを役立て、優しさをたゆみなく持ち続ける心、至誠」「腹を立てず、恨みや怒りを捨て去り、理不尽な出来事からも逃げ出さず、他人を許す広い心、堪忍」という言葉にはとても共感することができた。自分の人生を豊かにするため、心を豊かにするために実行したい言葉である。今の私は仕事をしていても、その日の気分に対応に差が出たり、自分に余裕がなくなって笑顔でいられなくなってしまうことが多々ある。そんな時には三徳を思い出し、思いやりの心、感謝の心を忘れず、常に笑顔でいられるようにしたいと思う。



三徳は福祉人が学ぶべき考え方だと思いました

安立荘 介護員 井原 ルナ

本を読んで、まずは純粋に良い本であると感ずるとともに、修学先生が言われた言葉の重みを感じることができました。

この本に登場した正男という少年の話は心に残るものでした。彼の行動にかなり手を焼いていたこと、そして彼をほめることによって心を開かせることができたこと、最後には彼が修学先生のみならず、すべての人達に素直に向き合えるようになったこと。たどっていく中で正男君の心の変化が読み取れました。私はお年寄りの施設で働くため、就職前の実習も特別養護老人ホームで行ったのですが、お年寄りが要望される多くのことを受け入れきれず、それに

対して怒るお年寄りに困惑したことがあります。もしあの時、修学上人のように、距離を持たず丁寧に向き合っていたらどうだったであろうかと考えてしまいます。今でも、そのことを思い出すことがあるのですが、本に書かれている「どんな子どもでも、ほめてやると必ず良い子どもになります」「一つのことを教えようと思ったら、五つくらいほめてあげることが必要です」等、心に響く言葉を重く受け止め、できることが限られてきたお年寄りに対しても、できたことを認め敬う姿勢で仕事を実践しなければいけないと思いました。

また、杉山先生から学んだ三徳の「慈悲・至誠・堪忍」という教えについても、とても共感できました。特に「悲しみを自分のこととして受け止め、自らの喜びを他人に分け与えるやさしさの心」という

言葉はとても心に響く言葉でした。このことを実践することがいかにむずかしく、いかに尊いことであるのか想像もつかないのですが、私自身の仕事に対する考え方の柱にしたいと思いました。もちろん、他の「至誠」「堪忍」についても修学先生が言われる精神的な柱であると思いますし、福祉人が学ぶべき考え方であると思います。私は、まだまだ自分自身のコントロールもままならないようなレベルですが、言葉の大切さ、そして重みを感じながら成長していきたいと感じました。

不幸な人々を助け、人々を幸せに導きたい

安立荘 介護員 杉本 捺美

私はこの本を読んで、いくつもの感動を覚えました。

そもそも、私は福祉の学校に通っていましたが、福祉とはどういうものなのかを深く考えたことはありませんでした。その時期は目標をもって何かをするという考えもなかったように思います。そのような自分自身に対し、修学先生は「自分は何のために生まれてきたのだろう」という疑問から、自らに高い目標を課して実行されたこと、まずはこのことに感動を覚えました。

私は今、介護員として高齢者施設で働いています。自分自身のお年寄りへの対応に自信が持てません。このことに通ずる内容として、本の中では、中風で寝たきりの老人を法華経の教えで救うといったことが書かれていました。もしかしたら、本の中の修学先生が「一向に良くなる気配がない」と言われているように、私自身は今その状況なのだと思います。

した。そうであるとすれば、杉山先生が修学先生に伝えた「あなたが病人と一緒に頑張って功徳を積むこと」が私自身の今するべきことなのかと改めて感じました。

また、この本を読んで、善意で人を支えることがあったからこそ、現在の福祉が成り立ってきたのだということにも感動しました。修学先生は法華経の教えを通して、すべての人を救うという使命があったのだと思いますが、実は今の福祉は高齢者である児童であれ、また障がい者であれ、杉山先生が言われた「不幸な人々を助け、人々を幸せに導くこと」という点では共通であり、すべてつながっているように思います。よく地域共生というニュースを目にしますが、色々な環境で苦勞している人達を皆で支え合おうという考え方を100年も前から実践され

ていたということに驚き、自分自身の小さな考え方に恥ずかしさを覚えます。

この本を読み進める中で、修学先生が考えてこられたことが、今法人で積み上げてこられた考え方だとわかりました。私自身も生きがいややりがいについて考えるとき、この本を参考にしたいと思います。

心を開いて接することのできる福祉人になりたい

安立荘 介護員 村上 須美代

この本を読み、修学先生は思いやりの心にあふれた人だと知りました。ハンセン病患者さんの救済や特高警察による弾圧など、大変な苦労を苦とせず、信じた教え・法華経を心に持ち、幸福のために前向きに進んでいく姿、生き方が強く印象に残りました。

自分のことよりも人のこと。自分達にできること

を精一杯行う。挫折があっても、それをも教訓にしていく。信念を持っていたら、いつか他者に、大勢に伝わり、助けてくれる人がいる。

杉山先生の教え・法華経を理解するだけでなく、日々の生活の中で実行することの大切さを学び、「慈悲・至誠・堪忍」の三徳を人々に論じたと書いてありました。

昭徳会に従事し、修学先生の本や話を聞くまで法華経について深く考えたことはありませんでした。

他人のことを自分の問題として受け止め、人に与える優しさの心を「慈悲」、世のため人のために自らを役立てる「至誠」、腹を立てず、怒りや恨みを捨て、理不尽なことから逃げ出さず、許す広い心を「堪忍」というそうです。

人に親切に、人をほめ、何事にも精一杯の力で取

り組むなど、人としてあたりまえのことが、今の私にできているかと問われれば、反省しきりの日々。不平不満を口にするばかりです。でもそれでは自分も相手も幸福になることはなく、不幸になるだけです。

震災孤児など、心を閉ざした子ども達に対し、してはいけないことをしても修学先生は怒るのではなく、諭すことで心を開かせました。認知症のお年寄りにも言えることだと思いました。自らが心を開いて接することで、利用者の方にも伝わり、心を開いてくれるのだと思いました。そこから信頼関係を築いていけると思います。自分が不安や不満を抱いて

いたら、相手にも伝わると思いました。

「不幸の人々に自分ができることを精一杯尽くす」社会福祉事業に欠かせない言葉だと思います。この本で学んだことを、今後の仕事に活かしていきたいと思いました。

特別養護老人ホーム 安立荘

- 愛知県みよし市打越町山ノ神60
- 入所定員80名、シヨートステイ8名
- 職員 正職員33名、パート職員40名

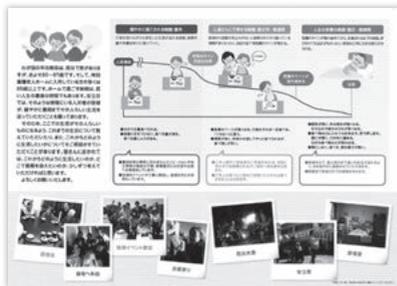
- 看護員⇨入所者の健康管理、健康指導や健康相談、入退院や通院の援助、医師との連携を主に担当。看護師の資格が必要。
- 介護員⇨入所者の食事介助、排泄介助、入浴介助、移動介助、清潔・整容介助を主に担当。国家資格である介護福祉士の取得者が望ましいが、介護員として特に資格は必要としない。介護員として3年間の実務経験と実務者研修の修了で国家資格である介護福祉士の受験が可能となります。

※本稿は平成30年7月にいただきました。(掲載順不同)

『日本の福祉を築いたお坊さん』 日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・168頁・800円(税別) 本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

パンフレットを利用した看取り介護に取り組む



写真提供・昭徳会



特別養護老人ホーム・安立荘 ～入居者が「その人らしく生き切る」ための支援を～

看取り介護とは、延命治療のような積極的な治療は行わず、慣れ親しんだ施設でご家族や職員に見守られ最期を迎えていただく支援です。安立荘では平成22年1月より看取り介護を開始し、平成25年11月からはさらなる質の向上をめざし、看取りプロジェクトの活動を開始しました。プロジェクトでは入居者とご家族が納得できる生活を送り、その人らしい最期を迎えるための支援を目標に、施設の各職種が集まり活動しています。

ご家族の多くは、最期は病院と思われており、施設で看取りができることを知りません。病院は治療が目的であり、延命処置が積極的に行われます。しかし老衰で最期を迎えようとしている人への延命処置は、時に苦痛になるともいわれます。私達は入居者とそのご家族に後悔のない最期を迎えていただきたいと考え、施設における看取りの過程を実際にイメージできるパンフレットを作成しました。

パンフレットの内容はプロジェクトに参加する職員で意見を出し合い、目的や終末期に向かう状態の変化、看取りを経験されたご家族のご意見などを取り入れ、写真やイラストを使いイメージしやすいように工夫をしました。このパンフレットはご家族でゆっくり考えていただくために、入所が決まった時点でお渡しし、入所後には看取りに対するご意見、ご意向をうかがい、ご本人にとって最善の選択ができるよう一緒に考えたいという旨をお伝えしています。

この取り組みを始めて「必要なことだと思ったので、面会の度に母と話しながらエンディングノートを書くようになりました」「入所時に話が聞けて運がよかったです。選択肢が増えました」と最期についてご家族に意識していただけるようになりました。また入院中に「最期は施設に戻りたい」と希望されたケースもあり、施設での看取りを理解していただ

たこと、私達のケアが認めていただけたことをうれしく感じることもありました。しかし、最初は看取りに積極的だったご家族が「病院で最期を迎えたい」と退所されるケースもありました。話し合いを重ねたつもりでしたが、ご家族の気持ちの変化に気づくことができず、悔いの残るケースもありました。

入所時にはご本人がご自身で希望を伝えられないことが多く、ご家族がすべてを判断しなければなりません。ご家族はご本人を大切に思っているからこそ「本当にこれでよかったのか」と常に気持ち揺らぎます。私達は多くの看取り体験からご家族の気持ちに寄り添い、入居者に安全で穏やかに過ごしていただくことが必要だと感じました。これからも私達は入居者が「その人らしく生き切る」ための支援を継続していきます。

特別養護老人ホーム・安立荘

グループリーダー（看護員） 濱崎 幸代

スポーツの世界で活躍する卒業生

日本福祉大学



浅尾拓也さん(左)



加藤啓太さん(前列右)

写真提供・日本福祉大学

2018年12月14日(金)、本学美浜キャンパスにおいて、9月に中日ドラゴンズを引退した浅尾拓也投手への表彰状贈呈式が行われました。

浅尾投手は2007年に福祉経営学部を卒業し、中日ドラゴンズに入団。通算416試合で38勝21敗23セーブ、通算防御率は2.42。通算ホールドポイントは歴代3位の成績を残しました。2010年・2011年に最優秀中継ぎ投手、2011年にはセ・リーグのMVPとゴールドングラブ賞も獲得。しかしその後は右肩痛のため投げられない期間もあり、どん底も味わっています。

表彰は、もちろん輝かしい成績で同窓生・在校生の大きな誇りとなったことに対してですが、プロ12年間、良い時も悪い時も精励し、その快活でまじめな姿が後輩達の大きな範となったことに対して行われました。

表彰式後の対談では、大学時代に監督の言葉に奮起し練習に邁進したことや、プロとして自分の長所のプレーを伸ばすこと、謙虚であろうと心掛けていたことなど、本学硬式野球部での思い出や選手時代の姿勢について語られました。

引退後は中日ドラゴンズ2軍投手コーチに就任。

「コーチとして大事にしたいことは？」という質問には、「教え過ぎないことです」「選手を見れば、その日の調子や考えていることがだいたいわかります。ですから、選手ができるだけ自分で考えて取り組めるようにしていきたい」と抱負を語ってくれました。

年が明けて1月9日(水)、2012年ロンドンパラリンピックのポッチャ種目に日本代表として出場した加藤啓太さんの「平成30年度人権擁護功労賞特別賞(ユニバーサル社会賞)受賞報告会」が、美浜キャンパスで行われました。この賞は共生社会(ユニバーサル社会)の実現に向けて顕著な功績が認められた個人・団体に、法務大臣より表彰されるものです。

加藤啓太さんは2009年に社会福祉学部を卒業。

脳性まひによる重度の障害を持ちながら、在学中より

ポッチャに取り組み、卒業後はパラリンピック出場を果たすとともに、ヘルパーステーションの会社を経営しています。今回の受賞は、愛知県内の小・中学校や企業でポッチャ体験教室を多数開催したこれまでの活動が、障害への理解を深め人権意識の向上に貢献したと認められたものです。

加藤さんは受賞について「私は重度障害者でありながら、数多くの夢をかなえることができました。しかし一つも一筋縄ではいっていません。どんなに可能性が低くてもあきらめずにやり続けることが大事です」これからも、加藤さんはご自身のモットー「1%の可能性があるなら最後まであきらめない。全力を尽くせ」を若者に伝え続け、「誰もが必要とされる。共生社会の実現」に向け邁進したい」と抱負を語ってくれました。

二人の卒業生に共通するのは、「全力で取り組むこと」。お話を聞いて、大変感銘を受けました。これからの活躍に期待を寄せるとともに、引き続き声援を送っていききたいと思います。

理事長・学長室課長 亀山 哲也

幸せの種まき 感謝と親切

徳を積んでいくと

「ありがたい」という心になれます

「ありがたい」という心ができると、

「もつともつ」という心がなくなり、

瞋りや愚痴が少なくなります

大乗山 法音寺

大阪市にある在庫処分業者には年間約600社から500万点の売れ残った新品の服が持ち込まれるのだとか。国内で廃棄される新品衣料の数は年間10億点にものぼるといいます。なんとという無駄と贅沢。生産者も消費者もお互いの「責任」を見直すべき時代にあるように思います。

私達は顕修院日達上人のお言葉を思い出します。

「日本という国は変な国で、食料自給率が50%にも満たなくて大半を輸入に頼っているながら、一方で食べ残した物を大量に捨てています。良い例がコンビニのお弁当です。売れ残って時間が経つと全部捨てるのです。日本中でそうして捨てられる食べ物の総量が年間1900万トンを超すと言います。実にもつたない話です」（『二日一言』より）

その昔、杉山先生も次のように述べられました。

「まず一般人士の虚栄心を去れ。虚栄心より生じられる衣服調度は華美に流れ、贅沢に陥つたのである。その他驕慢心多きが、実に現代人の一大欠陥である。すべからくこの驕慢心を去るべきである」

（『大乗山法音寺三徳開教百年史（一）』より）

日々法音寺の教えに接している私達は、節度ある生活を心掛けたいものです。



あたりまえに感謝

かんしや

竹中 淳







どうした？
だれ？

あ、
こわかった…



まったく…
二度と
花だんに
入るんじや
ないぞ！

はい
すみません
でした



ヒエーッ
冷てえ！

ヒヒヒッ



校務員こうむいんの
おじさんだよ



ホラ 前まえにも
どなりつけ
られただろ？

あーのど
かわいた
水みず！水みず



うわっ

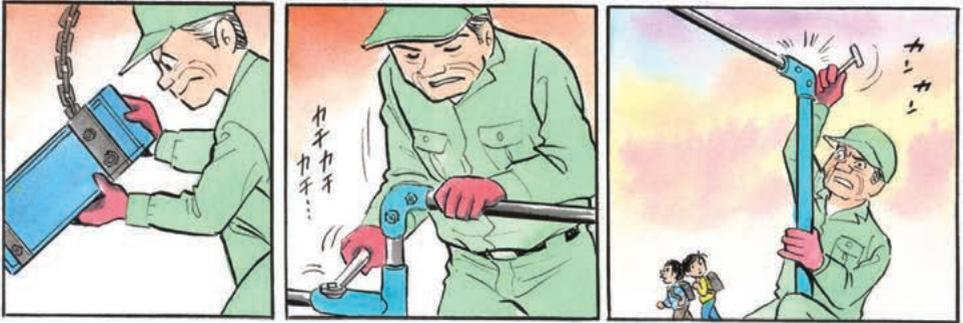


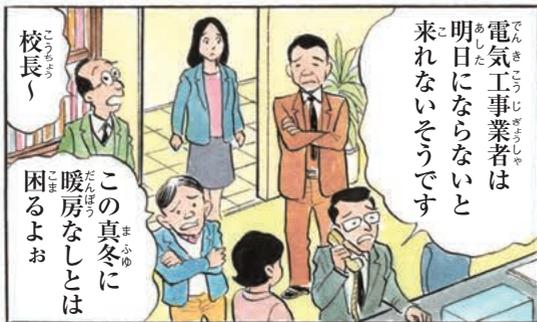
すぐに
止めなさい！

水みずの
むだづかい
するんじや
ない！！

あの時^{とき}
だって…









直りました
もう
大丈夫です

先生方!
教室にもどって
授業を
続けてください



うわあ
カッコいい…



そう…
一度きいて
みるわね



え?



先生!
ボク達
職業体験したい
ところがあります

これは
あたりまえの
ことだけれど
驚かすには
いられなかった



3日後ボク達は
希望どおりの
職業体験が
できることになった

花だんには
一年中
きれいな花が
咲き



時期や種類を
考えて花だんの
花を絶やさないと
特に新入学期は
華やかにしないと

蛇口をひねれば
水が出る



冬場は凍結に
注意だ
スイッチ一つで
電気がつき

遊具でけがもせず
楽しく遊べるのも
みんなあたりまえに思ってた



定期点検を怠れば
事故につながる

おじさんが
日頃の手入れ
あたりまえにしていて
修理点検で
くれたんだね

どうも
ありがとう
ございました



おじさん
あたりまえを
ありがとう



おしまい

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



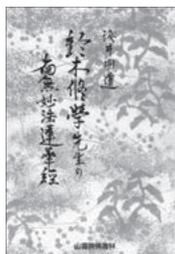
現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華経

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華経略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を
学びたい方へ



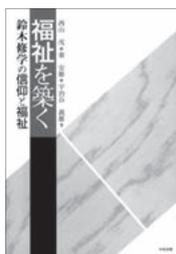
日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄／
宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
http://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

■児童養護施設

駒方寮
名古屋養育院
名古屋若松寮

■障がい児入所施設

小原学園

■障がい者支援施設

小原寮

■特別養護老人ホーム

安立荘
高浜安立荘
小原安立

■障がい福祉サービス事業

授産所 高浜安立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス 高浜安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス 大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム 高浜安立

■自立援助ホーム

慈か 泉り 寮ん

■保育所

駒方保育園
光徳保育園
天王保保育園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10 TEL.(052)831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

■日本福祉大学大学院

■日本福祉大学

■日本福祉大学中央福祉専門学校

■日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL.(0569)87-2211
http://www.n-fukushi.ac.jp



法音・平成31年2月号・No.592・平成31年2月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社